

学長のコラム

コンケン大学に行ってきました (1/2)

今回の訪問の目的は、交流協定校への表敬と大学の国際交流に関する映像（プロモーションフィルム）を撮影するためであった。大学からの今村部長と私に加えて、ゆうプランニング（広告代理店）の 2 人と監督カメラマン 2 人の計 6 人であった。

福岡空港を 14 日（木）11：35 出発予定であったが、出発ゲートで名前の呼び出しがあり、何かかと思いきや、「台風 18 号の為使用機材の到着が遅れたのと、台風を迂回してバンコクに向かうので遅延予定で、コンケンへの当初の乗り継ぎ便に間に合わないの、次の便を押さえました」とのことであった。この結果、コンケン着は約 2 時間遅れの 20 時頃になった。空港には、医療学部（AMS）の Patcharee 学部長、Dr. Wichai (PT, タイマッサージ)・Dr. Wilai 夫妻、Ms. Supaporn (今回の訪問の設定と世話を一手に引き受けてくれた AMS の国際交流担当女史)をはじめ、学生引率の岩下夏岐先生 (OT) と本学からの看護学科の 4 人の学生らが出迎えてくれた。皆で夕食を頂いたレストランでは、4 人の学生がタイ語で自己紹介して拍手を受ける。翌日、手配のマイクロバスで大学へ、900ha といっても想像できないが、4 系統の構内バスが運行する森の中の広大なキャンパスで、学生数 3.5 万人超とのこと。午前中は、看護学部 Sauwamas 学部長と会見。4 人の学生も参加した。学部・修士・博士課程に加えて、13 の研究クラスターと 3 つの研究センター、9 つの短期（4 ヶ月）訓練コースを持ち、「アジアのリーディング看護学部の一つになること」をビジョンとして掲げ、意気盛んである。午後は、医療学部の Dr. Patcharee 他と会見。来年 1 月に MOU の期限が切れるので、内容を拡充して延長することを提案されたが、従来そのまま延長して、拡充案（共同研究をベースに学生の滞在期間を 4 週間とする）については、持ち帰って今後の議論とすることにする。せっかちにも、月曜日までに MOU 文書を作成するのでサインを・・・とのこと。

この後の施設見学で、検査実習中の藤田保健衛生大学（名古屋）からの交換学生 2 人（4 年生）と会い、話をする。その後、Dr. Wichai が働くリハ診療所とタイマッサージ診療所を見学。診療費をとって患者を受け入れ、患者の許可をとって学生実習にも活用しているとのこと。

営業免許取っているのであろうが、日本では医者がいないと実施できない（岩下先生談）とのこと。本学ではできないのであろうか？この夜は、今村部長と岩下先生そして撮影クルーは、バンコク風景を撮影する計画でバンコクに飛んだ。一人残された小生は、Dr. Patcharee, Dr. Wichai 夫妻らに連れられ湖畔のレストランへ。藤田からの 2 人の学生も一緒に会食。トムヤムクンもグリーンカレーもスパイシーだがテイスティ。食後は、同じ部屋でカラオケ。Dr. Pacharee と Dr. Wilai が英語の歌でノリノリ。私も何曲かマイクを持たされたが、かなりリラックスした交流となった。（つづく）



ロイヤルブルーの看護学部棟



医療学部(AMS) 棟

9 月・10 月・11 月の主な行事予定

9/27(水)	「リハビリテーション学科」合同就職説明会 13:00～
9/28(木)	熊本地震復興支援 講談師 神田京子独演会 18:30～
9/29(金)	科研費公募③学内説明会 14:00～ 1200S 講義室
9/30(土)	保護者会(MT3 年・PT2 年・OT3 年・ST2 年)13:00～
10/2(月)	認定看護師教育課程 脳卒中リハビリテーション看護 入学式
10/5(木)	中国・温州医科大学研修団の訪問
10/14(土)	「アカデミックスキルラボ」キックオフシンポジウム
10/18(水)	動物慰霊祭
10/21(土)	学園祭(第 41 回杏祭)
10/23(月)	平成 30 年度科研費申請書学内締切 12:00 企画課
10/31(火)	医学検査学科 臨地実習認定式
11/1(水)	学術講演会「脳回路から脳機能を眺める」14:40～16:10
11/4(土)	リハ社会人・助産別科推薦・大学院推薦選抜・社会人選抜 (I 期) 入試
11/6(月)	入試業務説明会・面接研修会(主に教員)18:00～
11/7(火)	入試業務説明会(主に事務職員)14:00～ 入試業務説明会・面接研修会(主に教員)18:00～
11/11(土)	指定校推薦・一般推薦入試 *出勤日→振替休日 12/28
11/21(火)	定期健康診断(教職員対象) *年 1 回
11/29(水)	学校法人银杏学園 理事会

2017 年度 第 1 回 FD セミナー

8 月 24 日（木）に関西国際大学の濱名篤学長を講師にお迎えして、第 1 回 FD セミナーを開催しました。濱名先生は、現在、文部科学省中央教育審議会（中教審）臨時委員（大学分科会大学教育部会）として、高大接続改革に関する様々な中教審の審議に参画されており、その中の大学教育改革に関する講演活動を精力的に行っておられます。今回の FD セミナーでは、「3 つのポリシー（DP・CP・AP）を踏まえた教育の質保証の在り方」をテーマにご講演いただきました。

教育活動や学修成果の評価にはアセスメントポリシーによる評価（ルーブリックや学修行動調査など）が必須であること、Plan（3 ポリシーの一体的な策定）→Do（3 ポリシーに基づく教育活動）→Check（評価：アセスメントポリシー）→Action（改善）という PDCA サイクルを回すことが重要であること、他大学の質保証の可視化の方法や具体的事例など、中教審の審議に関わっておられる先生ならではの説得力のある分かり易いお話で大好評でした。今回のお話を伺って、本学の 3 ポリシー＋アセスメントポリシーを再度見直していく必要性を強く感じました。

※本セミナーには、本学教職員 58 名、崇城大学から 18 名の先生方に参加いただきました。

（文責：保健科学部長

杉内 博幸）



職員旅行（柳川・日田方面）

9月6日（水）・7日（木）に宿泊42名、日帰り42名の計84名で荒尾万田坑と福岡県柳川市と大分県日田市の旅を企画し、行ってきました。

一部の旅行先は、九州北部豪雨の被害を受けられましたが、大変なご苦労の中再開され、快く受け入れて頂きました。

旅行1日目の主な内容は、世界遺産の万田坑見学、柳川では老舗の鰻のせいろ蒸しと川下り、日帰り組は蒲鉾と有明漬けのお買い物、宿泊組は優雅に屋形船での宴会（鵜飼の見物）、2日目は日田祇園見学と豆田町散策をし、昼食はしゃも料理を堪能しました。ただ、午後の果物狩りは雨の影響により急遽道の駅に変更となりました。

幹事は、看護学科の大坪講師、船越講師、井上助教、太田助教、村瀬助教と高島でしたが、広く皆様の協力を頂き、特に大きなトラブルもなく、無事終了することができました。

参加されました教職員の皆様に深く感謝致します。

（文責：今年度幹事代表 看護学科講師 高島 利）

*



*

私の秘話ヒストリー

今回はリハビリテーション学科・理学療法学専攻の中原 和美 講師に投稿していただきました。

「授業参観」

今年の春、娘が小学校に入学した。入学後、直ぐに授業参観があった。私の記憶の中の授業参観は、嬉しいような恥ずかしいような感情のみしか残っていなかったが、初めて「親」という立場で参加して、担任の先生の授業の進め方に驚いた。授業は算数であったが、学習よりも遊ぶことに惹かれる子ども達に今後の学習に必要な数や計算の概念を教示する、普段、大人が無意識にしていることを全く初めての子ども達に教えていく過程は、とても興味深かった。私もそのようにして何もわからない状態から文字や数を習ってきたのだろうが、私自身の記憶はほとんどない。普段、当たり前に行っていることを、全く知らない人に順序だてて教示することはとても難しく、かなりの準備や工夫が必要だ。理学療法も臨床経験の中で徐々に獲得してきたスキルの教示ほど難しいと感じている。娘の授業参観は、学習初心者への教え方を改めて考えさせられる機会となった。